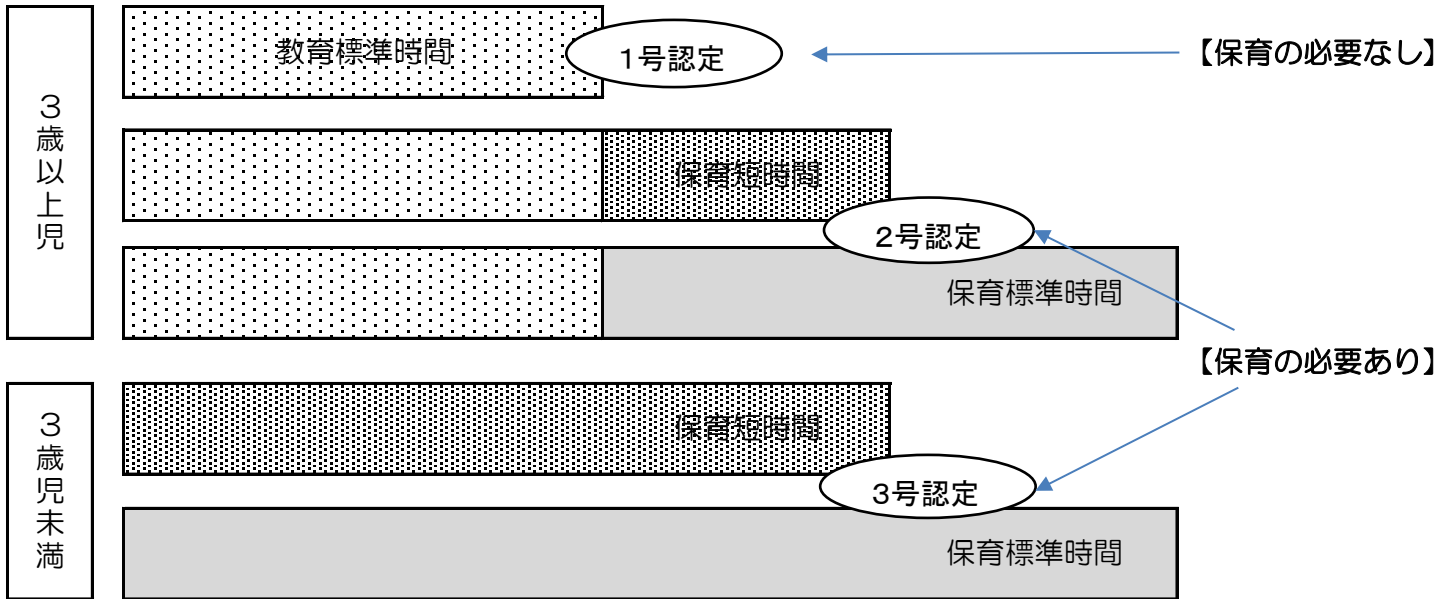


保育の必要性の認定について①

新制度では、パートタイマーなど短時間労働の保護者の子どもも、公的保育が利用できるように、「保育の必要量の認定」が導入される。

※保護者の就労状況等に応じて「保育標準時間」「保育短時間」の認定がされる。



◎認定の種類

| 認定区分 | 対象年齢※1 | 内容 | 保育必要量 (区分) | 主に利用する施設・事業 | |
|------|--------|-------|---------------|-------------|-------------------------|
| | | | | 町内(予定) | 町外 |
| 1号認定 | 3歳以上 | 教育 | / | 認定こども園 | 幼稚園・認定こども園 |
| 2号認定 | 3歳以上 | 教育・保育 | 保育短時間 | 認定こども園 | 保育所・認定こども園 |
| | | | 保育標準時間 | | |
| 3号認定 | 3歳未満 | 保育 | 保育短時間 | 認定こども園 | 保育所・認定こども園 地域型保育事業※2 |
| | | | 保育標準時間 | | |

※1 対象年齢は、年度当初（4月2日）の年齢

※2 地域型保育事業は0～2歳児を対象とする事業

- ・小規模保育
- ・家庭的保育（保育ママ）
- ・事業所内保育
- ・居宅訪問型保育

◎保育の必要量に応じた区分

| 保育必要量 区分 | 対象内容 | 保育・教育利用時間 |
|-------------|---------------------------------|-----------|
| 教育標準時間 | 幼児教育 | 4～5時間 |
| 保育短時間 | 1ヶ月48時間以上120時間未満、主にパートタイムの就労を想定 | 8時間 |
| 保育標準時間 | 1ヶ月120時間程度、主にフルタイムの就労を想定 | 11時間 |

